



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清原 晃
 問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)鈴木 正彦 (TEL) 042-357-2211
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	76,750	10.4	5,850	74.9	5,370	157.2	4,214	—
25年12月期第3四半期	69,525	25.9	3,344	—	2,088	—	146	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 4,675百万円(93.9%) 25年12月期第3四半期 2,411百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	31.33	—
25年12月期第3四半期	1.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	122,316	21,375	16.7
25年12月期	113,189	11,806	10.1

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 20,370百万円 25年12月期 11,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	10.2	6,900	34.0	6,300	62.5	4,600	53.0	34.20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	149,370,899株	25年12月期	129,370,899株
26年12月期3Q	166,079株	25年12月期	161,683株
26年12月期3Q	134,513,143株	25年12月期3Q	129,214,048株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動(主に円/米ドル相場)などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、中国での売上は縫製機器事業・産業装置事業ともに伸び悩んでいるものの、アジアの新興国市場では縫製機器事業が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどから売上高は767億5千万円(対前年同期比10.4%増)となりました。また、前年より実施しているグループ全体の構造改革の効果もあり、営業利益は58億5千万円(対前年同期比74.9%増)、経常利益は53億7千万円(対前年同期比157.2%増)、四半期純利益は42億1千4百万円(前年同期は1億4千6百万円の利益)となりました。

なお、当社の連結子会社であるJUKIオートメーションシステムズ株式会社は、本年3月1日付でソニー株式会社およびその子会社であるソニーイーエムシーエス株式会社の実装機器およびその関連事業を会社分割(吸収分割)により承継いたしました。これにより、当社グループの産業装置事業について、開発・販売・生産面での再構築を図り、開発効率の向上、製品ラインナップの充実、相互の実装技術ノウハウを活かしたソリューション営業の強化等を実施してまいります。

また、当社は、今後も持続的に収益を上げられる「しっかりとした事業基盤」の構築を実現していくため、本年7月から8月にかけて新株予約権の行使により41億8千8百万円の増資を実施いたしました。これにより、新たな成長戦略に向けての資金面での基盤強化とともに財務体質の強化を進めることができました。

(主なセグメント別の概況)

① 縫製機器事業

アパレル縫製産業においては、生産地は中国からアジアの新興国地域へとシフトが拡大しておりますが、この地域での販売が堅調に推移したことや自動車シート・スポーツシューズなどノンアパレルの縫製事業向けの売上が増加したことなどから、縫製機器事業全体の売上高は556億3千4百万円(対前年同期比11.1%増)となりました。

② 産業装置事業

事業統合により受け入れたマウンタ、印刷機、検査機等の新製品の販売への寄与が途上であったものの、省力化設備の売上増があったことなどから、産業装置事業全体の売上高は158億円(対前年同期比10.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ91億2千7百万円増加して1,223億1千6百万円となりました。現金及び預金やたな卸資産が増加したことなどによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ4億4千1百万円減少して1,009億4千1百万円となりました。支払手形及び買掛金は増加したものの短期借入金が減少したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ95億6千8百万円増加して213億7千5百万円となりました。四半期純利益の計上に加え、新株予約権の行使による増資などによるものです。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益の計上の結果、欠損金は解消し利益剰余金は19億1千万円(前連結会計年度末は△23億4百万円)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期通期につきましては、8月6日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

今後、世界経済の状況や為替動向など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,254	9,732
受取手形及び売掛金	24,879	25,554
たな卸資産	44,328	49,301
その他	5,168	5,052
貸倒引当金	△1,125	△1,190
流動資産合計	79,505	88,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,204	14,698
土地	6,774	6,774
その他（純額）	4,635	4,701
有形固定資産合計	26,614	26,174
無形固定資産	1,579	2,233
投資その他の資産		
その他	6,926	7,036
貸倒引当金	△1,436	△1,578
投資その他の資産合計	5,489	5,457
固定資産合計	33,683	33,865
資産合計	113,189	122,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,875	14,005
短期借入金	53,074	49,774
1年内償還予定の社債	10	—
未払法人税等	873	896
賞与引当金	54	557
その他	6,962	7,397
流動負債合計	72,850	72,632
固定負債		
長期借入金	21,655	21,353
退職給付引当金	5,217	5,370
役員退職慰労引当金	165	168
その他	1,492	1,416
固定負債合計	28,531	28,308
負債合計	101,382	100,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,950	18,044
資本剰余金	—	2,094
利益剰余金	△2,304	1,910
自己株式	△60	△61
株主資本合計	13,585	21,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	731
繰延ヘッジ損益	△23	△6
為替換算調整勘定	△2,760	△2,342
その他の包括利益累計額合計	△2,153	△1,617
少数株主持分	374	1,005
純資産合計	11,806	21,375
負債純資産合計	113,189	122,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	69,525	76,750
売上原価	50,763	52,586
売上総利益	18,761	24,164
販売費及び一般管理費	15,417	18,314
営業利益	3,344	5,850
営業外収益		
受取利息	96	99
受取配当金	116	72
為替差益	—	112
その他	484	396
営業外収益合計	696	680
営業外費用		
支払利息	1,232	1,071
為替差損	597	—
その他	123	88
営業外費用合計	1,953	1,160
経常利益	2,088	5,370
特別利益		
固定資産売却益	126	16
投資有価証券売却益	0	3
特別利益合計	126	19
特別損失		
固定資産除売却損	11	67
減損損失	108	—
持分変動損失	—	5
特別退職金	1,478	—
特別損失合計	1,598	72
税金等調整前四半期純利益	616	5,317
法人税等	446	1,185
少数株主損益調整前四半期純利益	169	4,132
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23	△81
四半期純利益	146	4,214

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169	4,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	298	100
繰延ヘッジ損益	104	17
為替換算調整勘定	1,838	425
その他の包括利益合計	2,241	543
四半期包括利益	2,411	4,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,352	4,750
少数株主に係る四半期包括利益	58	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ20億9千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が180億4千4百万円、資本剰余金が20億9千4百万円となっております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	50,093	14,324	64,417	5,107	69,525	—	69,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187	147	334	640	975	△975	—
計	50,280	14,472	64,752	5,748	70,500	△975	69,525
セグメント利益	2,111	293	2,405	267	2,672	△584	2,088

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鋳造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△584百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,634	15,800	71,434	5,315	76,750	—	76,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	254	263	518	729	1,247	△1,247	—
計	55,888	16,064	71,952	6,044	77,997	△1,247	76,750
セグメント利益又は損失 (△)	5,660	△123	5,536	248	5,785	△415	5,370

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鋳造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、縫製機器事業セグメントの資産29百万円、その他のセグメントの資産3百万円、報告セグメントに帰属しない遊休資産76百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。